

平成 24 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」（上本村、下本村、本村東、村雨、前耕地、水上）

開催日時	平成 24 年 10 月 3 日（水）午後 7 時から午後 9 時	天気 くもり
場所	下本村コミュニティセンター	
町民参加者	男 18 人 女 2 人（40 代以下 0 人、50 代 1 人、60 代以上 19 人）	
町出席者	町長、副町長、教育長、企画財政課長、総務防災課長、生涯学習課長、上下水道課長、事務局 2 人	

## 出席者から出された主な意見や提案

### 《テーマ：防災対策》

- 消防組織が広域化になると国や県から支援があるとのことだが、具体的にどういった支援を受けられるのか。
- 丹沢地震という言葉聞くようになった。町はどのような対策を考えているのか。
- 土砂災害が発生しそうな台風や豪雨の時、自主防災組織の役割としてどのように動けば良いのか。土砂災害の危険があるような場所に大雨の時に行き、現場を確認して町に報告しなくてはいけないのか。
- 土のう袋は町から支給していただいたが、それに詰める土砂がないため土のうが作れない。
- 町の消防団は消防活動だけでなく、災害時の支援・活動は行ってくれるのか。
- 自主防災組織について町でマニュアル等を作成したからといって、自治会に丸投げしないで頂きたい。マニュアル等を作って提示した後も町で自主防災組織づくりの支援や説明を行い自主防災組織づくりをして頂きたい。

### 《テーマ：その他》

- 町に転入してきた方で、自治会に入っていない方はいるようだが、災害時に隣近所で連携して助け合うためにも自治会に加入していただかないといけないのではないか。自治会活動に参加しないと顔も分からないし、日ごろの付き合いなども発生しないので、助け合うことは難しいと感じている。
- 町から防災マップとハザードマップが配られているとの事だが、どういった内容が書かれているのか。
- 夏場に災害がおきた場合、食糧の腐敗が進むと考えられるが、今の若い方は腐って食べられな

いのか、食べられるのか判断することができないのではないか。災害時の食糧問題は非常に重要だと思うので、講習会等を行っていただき若い方に正しい知識を知っていただきたい。

○東山北駅に上屋はできないのか。

○大雨や台風の時に御殿場線は松田駅、御殿場駅間が止まってしまう。町としては、JR東海に対して大雨でも土砂崩れ等の危険が少ない松田駅、山北駅間は運行していただくよう要請すべきだ。

○10月号の広報に町の平成23年度決算概要が掲載されていたが、年々財政が厳しくなっているのを感じた。住民サービス等でも削れる予算は削っていかねばいけないのではないか。